第 19 回 有機デバイス・物性院生研究発表会（終了報告）

チャプター名	有機デバイス・物性学生チャプター
開催日時	2024 年 10 月 1 日（13:00）～10 月 3 日（15:00）
場所	京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ・化学共同研究棟 1F セミナー室
参加者	73 名（内応用物理会員 44 名）

開催目的：

有機半導体研究の遂行には、「有機合成化学」「デバイス物理」「光電気物性評価」に代表される分野横断的な知見の習得が必要不可欠である。有機半導体研究の深化に向けて、我々は日本全国の有機半導体研究に携わる学生を対象とした「第 19 回 有機デバイス・物性院生研究会」を開催し、各プログラムを通じた学生交流から、各研究分野の相互理解および研究者間のネットワーク構築を目指す。

開催内容：

研究会では、学生同士による口頭発表・ポスター発表・懇親会および招聘講師による講演を実施する。各プログラムにおける交流を通じて、研究対象が多岐に跨る有機半導体研究の相互理解と研究者間のコミュニケーションの活発化を図る。

開催結果：

東北・九州地方の広域にわたる各大学から計 73 名の学生が参加し、（応用物理学会 44 名、全 22 研究室）18 件の口頭発表、50 件のポスター発表および招聘講師による講演が行われた。各セクションにおいては、設定された質疑応答時間内では収まりきらないほどに活発な質疑応答と議論が展開され、分野横断的な有機半導体研究の相互理解を行うことができた。また、招待講演においては、有機半導体研究の最先端技術だけでなく、研究者のあるべき姿・矜持についても学ぶことができた。本研究会開催を通じて、有機半導体分野の相互理解・研究者間のネットワーク形成という本研究会の目的も多いに達成することができた。

Fig 1. 山本俊介 准教授（京都大学）によるご講演

Fig 2. 第 19 回研究会の参加メンバー（閉会式中）